



3月園だより

令和8年3月2日
目黒区立大岡山保育園園長

先日中根小学校・緑丘小学校の先生方と、近隣の保育園が集まって懇談会を行いました。地域での子どもの見守り意識の強化や、小学校就学への滑らかな接続につながるきっかけとなる機会となりました。校長先生から「乳幼児期は人格形成期で、人としての土台を作る大切な時期です。入学前にたくさんの経験をしてください。友達とぶつかり合って葛藤したり、嫌な思いを立て直したりする経験や、水・土などの自然と関わる経験、食べることが楽しいと思う経験をたくさんしてください。」という話がありました。大岡山保育園で大切にしていることと同じであることが確認され、子どもたちの人格形成の基礎を作る大切な時期に関わっていることに改めて身が引き締まる思いでした。

ぶどう組で第2回こままわし大会が開催されました。第1回で惜しくもメダルを逃した子が懸命に練習を重ね、見事金メダルを勝ち取りました。その過程が自信につながり、その後の他の活動にもさらに意欲を見せていました。また、残念ながら今回メダルを逃した子は、悔しい気持ちをこらえながら次の大会に向けてまた練習を重ねていました。色々な経験を通して感情が育ち、自信をつけたり、あきらめない気持ちが育ったりしています。これからも子どもたちの大切な成長の時期に携わる者としての責任を重く受け止め、子どもたちがたくさんの経験ができるよう、職員一同尽力してまいりたいと思います。一年間園運営にご理解ご協力をありがとうございました。

3月の予定

卒園式
お別れ遠足
（3、4、5歳児クラス）
移動日
お別れ会
中旬 身体計測 避難訓練

【クラス移動について】

新クラス移行に向けての準備をします。
新クラス保育室で現担任が保育します。
※詳細は後日配信しますのでご協力をお願いします。

卒園するぶどう組にインタビュー

保育園で楽しかった行事は??

2位 運動会

みんなで踊れて楽しかった！
リレーで勝てたから！

1位 こままわし大会

勝てたから嬉しかった！
こまを回せるようになった！
メダルをもらって嬉しかった！

3位 遠足

(上野動物園・足立生物園)
ゾウが見られて良かった！
沢山の蝶が見れた！

4位 焼き芋会

お芋がとっても甘かった



～1年間でこんなに大きくなりました♪～

0歳児クラス（いちご組）

初めて出会ったときは、小さくて不安いっぱい泣いていたことが思い出されます。安心して過ごせるように、保育士と好きな遊びをたくさん楽しみ、水遊びやお散歩など体を動かす楽しさも一緒に積み重ねてきました。今ではそれぞれが歩いて目的地まで向かえるようになり、たくましく成長しています。言葉も増えて「まんま どうぞ」「しゅんしゅん（せんせい）」「ぶーぶー 通ったね」「りんごです」「でんしゃ」などなどやり取りが楽しい毎日です。いちご組での1年の成長は体だけでなく様々な成長が著しく、大きくなったな、と喜びを感じます。友達の遊びが気になり、同じことをして笑い合うなど世界が広がってきているので、これからの成長もますます楽しみです。



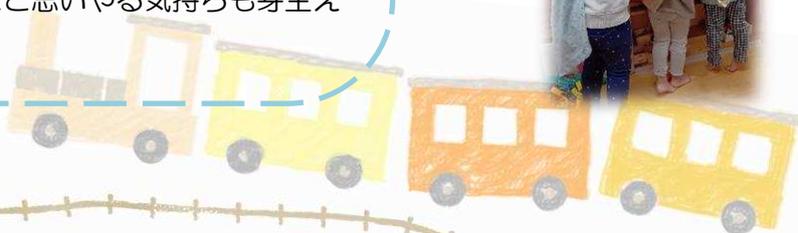
1歳児クラス（もも組）

もも組の部屋では「どこがいたいですかー?」「いらっしゃいませ」とたくさんのお医者さんや、お店屋さんの声が聞こえてきます。初めは保育士がお医者さん役になり、もしもしとお腹を見てもらったり「あーん」と口を開けたりしていましたが、今ではスプーンやブロックなど、様々な小道具を自分たちで見つけ、体温計や聴診器などに見立て、子ども同士で病院ごっこを楽しんでいます。アイス屋さんやレストランなどでも、作る人、運ぶ人などそれぞれのやりたいものになり、保育士と一緒に言葉のやり取りも楽しんでいます。自分の経験したことや、友達がしているのを真似しながら楽しんでいる姿に、日々大きくなったなと成長を感じています。



2歳児クラス（りんご組）

言葉のやりとりが増え、遊びの中でイメージが広がっていく中で、ごっこ遊びが盛り上がっています。ぶどう組のピーターパンを観てからは、ピーターパンごっこをする姿が増えました。「僕はピーターパン」「私はティンカーベル」と自分のやりたい役を演じたり、ブロックで剣を作り、腰にハンカチを巻いたり、ハンカチをたくさん繋げ海賊船を作っています。また長い髪に見立ててハンカチを床に着くくらい長くつなげて自分の髪につけ、ラプンツェルになりきる姿もあります。演じるだけでなく、その必要なものを自分で考え、イメージを言葉にしながらいかに形にしていく姿に日々驚かされます。自分のイメージを満足するまで表現し、同じイメージを持った友達と一緒に遊ぶのが楽しいという姿に育ち、相手の気持ちに気付いて、譲ってくれるなど思いやる気持ちも芽生えています。



3歳児（さくらんぼ組）

自分の気持ちを、相手に伝わるようにはっきりと言葉で伝えられるようになってきました。その中では友達とぶつかりあうこともたくさん経験してきましたが、少しずつ相手にも自分とは違う気持ちがあるということに気づき始めています。ある時「先生、僕のシャベルとった」という子と「だって使ってなかったじゃん」という子がいました。すると周囲の子どもたちが「あのね、使ってるとって知らなかったんだよ」と友達の気持ちを察して代弁したり、「ここに同じのあるよ」と同じものを探してきてくれたりしました。保育士が間に入るまもなく自分たちで解決できることが増えています。お互いに主張し合える姿と自分とは関係ないことでも友達のために何とかしてあげようとする思いやりの気持ち、それを素直に受け入れられる姿に成長を感じました。



4歳児（れもん組）

ルールのある遊びが大好きになった子どもたちは、遊びを通じて様々な気持ちを経験してきました。特に好きな遊びは“転がしドッジボール”です。初めてやった時は当たっても楽しい気持ちが大きかったのですが、次第に当たると悔しい気持ちが芽生え涙を流すようになりました。一人ひとりが悔しい気持ちを経験してきたことで今では泣いている友達がいるとそっと近づき「つぎがんばろうよ」と励ましたり、ティッシュを渡してあげたりするなど、友達の気持ちに寄り添ってあげる姿も見られるようになりました。これからも遊びを通して様々な気持ちを経験していきながら友達と協力し合う楽しさや心地よさを感じ、より友達との関係を深められるようにしていきます。



5歳児（ぶどう組）

一年を通してドッジボールを楽しんできました。最初は誰がボールを投げるか決めるのに時間がかかり試合が止まっていたましたが、今ではチームが勝つために、ボールを投げる向きや立ち位置など子ども同士で声を掛け合い協力する姿がとて多くなりました。先日、自園で行われた他園とのドッジボール大会では「(自分たちは)強いチームだからね。絶対勝てるよ」「みんなパス上手になったもん」と今まで一緒に戦ってきたからこそ分かる友達の良さを声に出しながら全力で応援していました。そして、チームが勝つと観客席から飛び出して友達を迎え、ハイタッチしたり抱き合ったりしてみんな喜び合っていました。この一年間いろいろな活動や行事を友達と一緒に乗り越えてきました。壁にぶつかっても「友達がいるから大丈夫」と友達との絆を子ども自身がたくさん感じてきました。小学校でも新しく出会う友達と力を合わせて乗り越えていけるとと思います。

